

平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 システムソフト

コード番号 7527 URL <http://www.systemsoft.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉尾 春樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 緒方 友一

TEL 092-714-6236

四半期報告書提出予定日 平成24年8月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	1,032	—	122	—	104	—	95	—
23年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 95百万円 (—%) 23年9月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	2.80	—
23年9月期第3四半期	—	—

(注) 当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第3四半期	1,913	1,586	82.9	42.27
23年9月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 1,586百万円 23年9月期 一百万円

(注) 当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年9月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,487	—	214	—	192	—	163	—	4.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社アップトゥーミー 、 除外 1社 (社名)
(注) 詳細につきましては、【添付資料】3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細につきましては、【添付資料】3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期3Q	37,566,560 株	23年9月期	33,311,260 株
② 期末自己株式数	24年9月期3Q	31,448 株	23年9月期	31,370 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期3Q	33,963,203 株	23年9月期3Q	33,279,890 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び前事業年度末との比較については記載しておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年10月1日～平成24年6月30日）におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による停滞から少しずつ改善の兆しが見られたものの、欧州財政危機の再燃や電力不足によるマイナス面の懸念もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましても、一部においてIT投資が緩やかに回復する面が見られましたが、経済全体の不安定要素から本格的な復調には至らず、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、受注及び収益の拡大に向け、以下の課題に取り組んでまいりました。

まず、システム開発事業におきましては、お客様のニーズに合わせた細やかなサービスの提供を行い、関係の強化を推し進め、既存システムの機能改善や新規案件を獲得することで業績の拡大を目指しました。

また、新たな事業として準備をすすめておりました賃貸不動産情報サイト運営事業につきましては、新サイト「APAMAN」を平成24年1月4日に公開し、同事業を開始いたしました。同サイトは、数多くの物件情報を掲載することで、「そこにいけば必ず求める物件が見つかる」という、利用者にとって利便性の高いサイトであり続けることを目指しております。

加えて、平成24年5月22日付で株式会社アップトゥーミーの全株式を取得して連結子会社とし、同社を中心としてモバイルマーケティング事業を新たにスタートさせております。同社は、携帯電話、スマートフォンなどのモバイル端末におけるSEO（検索エンジン対応の最適化）コンサルティング事業に強みを持つ企業であり、この分野において大手ポータルサイト、コンテンツプロバイダーなどの顧客を中心として事業を推進しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、1,032百万円となりました。

また、利益面におきましては、営業利益は122百万円、経常利益は104百万円、四半期純利益は95百万円を計上いたしました。

セグメント毎の業績は、次のとおりであります。なお、当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、既存のシステム開発事業についてのみ、参考として前年同四半期の単体の業績との比較を記載しております。

① システム開発事業

通信関連におきましては、継続案件に加えて新たな研究分野におけるスポット案件を受注するなど、売上高は前年同四半期に比して伸びております。

生活インフラ関連におきましては、新規案件のスタートが遅れたことや案件を縮小したことにより、売上高は減少いたしました。

不動産関連におきましては、親会社株式会社アパマンショップホールディングスのグループ内で取り組んでおりました不動産情報サイト「apamanshop.com」の再構築案件が前事業年度の第1四半期をもって終了した一方、同グループの基幹システムに係る保守・開発案件が増加したことで、売上高はほぼ前年同四半期並みとなりました。

生損保関連におきましては、スタートが遅れておりました統合開発案件が本格的に動き出したことにより、売上高は大幅に増加いたしました。

以上の結果、システム開発事業全体の売上高は前年同四半期に比して175百万円増加し869百万円、営業利益は売上高が増加したこと及び開発の効率化により前年同四半期に比して74百万円増加し、99百万円となっております。

② 賃貸不動産情報サイト運営事業

平成24年1月4日に賃貸不動産情報サイト「APAMAN」を公開し、当事業を開始いたしました。豊富な物件数の中から、利用者の求める条件を充たす物件情報を、迅速かつ適切に提供できる利便性の高い新サイトとして評価いただけるよう、約113万件の物件情報を掲載しております。

当第3四半期連結累計期間における賃貸不動産情報サイト運営事業の売上高は125百万円、営業利益は40百万円となっております。

③ モバイルマーケティング事業

完全子会社である株式会社アップトゥーミーを中心として事業を開始し、当第3四半期連結累計期間における売上高は37百万円、営業利益は14百万円となっております。

なお、同社株式の取得が平成24年5月22日であるため、上記は平成24年6月1日から平成24年6月30日までの1ヵ月間の業績となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、1,913百万円となりました。主な内訳は、長期前払費用1,007百万円、現金及び預金407百万円、受取手形及び売掛金231百万円であります。

負債合計は、326百万円となりました。主な内訳は、退職給付引当金152百万円、買掛金33百万円、未払法人税等25百万円であります。

純資産合計は、1,586百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間より連結決算を開始したことに伴い、今回から連結業績予想を公表しております。詳細は、本日公表した「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、個別業績予想につきましては、平成23年11月4日付「平成23年9月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年5月22日付で株式会社アップトゥーミーの全株式を取得したことにより、当第3四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

なお、平成24年6月1日をみなし取得日としたため、貸借対照表及び平成24年6月1日から平成24年6月30日までの損益計算書を連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成24年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	407,629
受取手形及び売掛金	231,865
仕掛品	32,638
繰延税金資産	5,380
その他	25,570
流動資産合計	703,085
固定資産	
有形固定資産	10,743
無形固定資産	
のれん	89,903
その他	61,085
無形固定資産合計	150,988
投資その他の資産	
長期前払費用	1,007,010
その他	41,215
投資その他の資産合計	1,048,226
固定資産合計	1,209,958
資産合計	1,913,044
負債の部	
流動負債	
買掛金	33,795
未払法人税等	25,378
賞与引当金	18,370
その他	90,997
流動負債合計	168,542
固定負債	
繰延税金負債	907
退職給付引当金	152,551
資産除去債務	4,307
固定負債合計	157,767
負債合計	326,309

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成24年6月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,401,053
資本剰余金	97,871
利益剰余金	95,000
自己株式	△8,018
株主資本合計	1,585,908
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	826
その他の包括利益累計額合計	826
純資産合計	1,586,734
負債純資産合計	1,913,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	1,032,026
売上原価	750,110
売上総利益	281,915
販売費及び一般管理費	158,928
営業利益	122,987
営業外収益	
還付加算金	459
その他	744
営業外収益合計	1,204
営業外費用	
地代家賃	6,294
株式交付費	5,114
その他	8,178
営業外費用合計	19,586
経常利益	104,605
税金等調整前四半期純利益	104,605
法人税、住民税及び事業税	9,733
法人税等調整額	△129
法人税等合計	9,604
少数株主損益調整前四半期純利益	95,000
四半期純利益	95,000

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成23年10月1日
至 平成24年6月30日)

少数株主損益調整前四半期純利益	95,000
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	693
その他の包括利益合計	693
四半期包括利益	95,694
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	95,694

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年5月18日付で、中島正三氏から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結会計期間において資本金が102,127千円、資本準備金が97,871千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,401,053千円、資本準備金が97,871千円となっております。

(5) セグメント情報等

当第3四半期連結累計期間（自平成23年10月1日 至 平成24年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	システム 開発事業	賃貸不動産情報 サイト運営事業	モバイルマーケ ティング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	869,201	125,000	37,824	1,032,026
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—
計	869,201	125,000	37,824	1,032,026
セグメント利益	99,320	40,805	14,813	154,939

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	154,939
のれんの償却額	△1,523
全社費用（注）	△30,428
四半期連結損益計算書の営業利益	122,987

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「モバイルマーケティング事業」セグメントにおいて、平成24年5月22日付で株式会社アップトゥーミーの株式を取得し、連結子会社としたことに伴い、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては91,427千円であります。